

新型コロナウイルス感染症は、若い人たちをはじめ、誰もが感染する可能性があることから、差別や偏見を持たずに今一度、一人ひとりが冷静な行動を心がけるようお願いします。

寒冷地の新型コロナウイルス感染防止対策

【基本的な感染防止策の実施】

- ・マスクの着用
- ・3密を避ける

【適度な保湿】

- ・湿度40%以上を目安に
- ・加湿器の使用や洗濯物の室内干しをする

【寒い環境でも換気を実施】

- ・機械設備による換気(常時換気)
- ・設備がなければ窓を少し開け、室温は18度以上を目安に
- ・廊下や使っていない隣室の窓を開けるなどして外気を取り入れてから居室に移す『2段階換気』



新型コロナウイルス感染症の『いま』についての知識

Q. 新型コロナウイルス感染症を診断された人のうち、重症化しやすいのはどんな人ですか

A. 重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある人です。重症化のリスクとなる基礎疾患には、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満があります。

Q. 新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させてしまう可能性がある期間はいつまでですか

A. 期間は発症の2日前から発症後7～10日間程度とされています。また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。このため、新型コロナウイルス感染症と診断された人は、症状がなくても不要・不急の外出を控えるなど感染防止に努める必要があります。

高病原性鳥インフルエンザ

**死んだ野鳥を見つけても素手で触らないでください
ハクチョウ、カモ類などに餌付けを行わないでください**

道内でも、高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されています。高病原性鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人には感染しないと考えられています。

【注意事項とお願い】

- ・死んでいたり、衰弱している野鳥を見つけた場合は、素手で触らないようにしましょう
- ・野鳥が大量に死んでいるのを見つけたら、役場環境林務課林政係へ連絡してください

【連絡先】

環境林務課林政係 ☎52-3131

新型コロナウイルス感染症対策

(問い合わせ)保健福祉課健康推進係 ☎53-3333

北海道では、年末年始を見据えて感染拡大を徹底して抑え込むため、集中対策期間を延長しています。(12月22日現在)

町民の皆さんにおかれましても、より一層の感染対策をお願いします。

集中対策期間 令和2年12月12日(土)から令和3年1月15日(金)

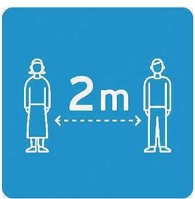
【主な対策】

- ・自宅を含む飲食の場面においては、5人以上や2時間を超える長時間の飲食の自粛(同居者の場合を除く)
- ・会食中でも、会話の際にはマスクをつけて、静かな会食を
- ・初詣は混雑する時期や時間を避ける
- ・忘年会や新年会はなるべく普段から一緒にいる人と少人数で
- ・重症化リスクの高い人(高齢者、基礎疾患を有する人など)と接する人や重症化リスクの高い人は、マスクの着用・手洗いなど、感染リスクを回避する行動の更なる徹底
- ・事業者の皆さんにおかれましては、年末年始の挨拶回りの自粛、職場での感染リスクが高い場所の再点検をお願いします
- ・発熱や咳があるなど、体調が悪い場合には、外出を控えてください。もしも、体調が悪い場合は北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センターに相談してください

北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター

☎0800-222-0018(フリーコール・24時間)

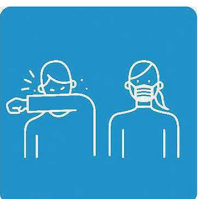
『新北海道スタイル』の徹底を



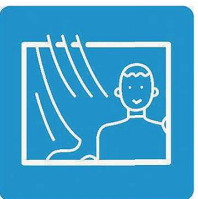
いまは、
きよりとって



手を洗おう



咳エチケット



換気をしよう



新北海道スタイル



3つの「密」を
さけよう



テイクアウトや
デリバリーも



オンラインを
上手に使う

※『手を洗おう』

- ・感染予防の基本は石けんを用いた手洗いです
- ・手洗い後は更に消毒薬の使用は不要です
- ・手洗いができない場合(外出時や近くに水道などがない場合)には、消毒薬の使用も有効です